

Vol. 159

TIFA会報

外国人に日本語を教えるボランティア団体

Tachikawa International Friendship Association

立川国際友好協会発行

発行責任者 小林 保
編集責任者 宇佐美 浩

ホームページ

<https://tifa-class.net/>

TIFA 多文化交流事業 えんがわサロン さくらウォーク

TIFA えんがわサロンは2016年4月からスタートし、今年で10年目になります。立川市役所やOG、裏方の皆様のお力添えにより、市および周辺在住の外国人とボランティアの交流の場として、毎月第4金曜日13:30～16:30、柴崎会館にて継続開催されています（12月は第3金曜日に実施）。



「さくらウォーク」は2019年3月22日から始まったイベントで、途中、コロナ禍で休止を余儀なくされたものの、これまでに5回開催されました。サロン会場の柴崎会館を出発し、根川沿いを小一時間散策します。3月は年度によってはまだ肌寒く、桜も満開ではありませんが、コブシ、モクレン、ツバキ、レンギョウ、ボケ等、早春の花々を楽しみながら歩きます。散策の後、時には川沿いのあずまやで、時には公園ひろばに足をのばしてピクニックシートを広げ、おしゃべりに花を咲かせます。ウォーキングのお供はボランティア手作りの「桜餅」です。出来たてホヤホヤのとびきり美味しい桜餅を感激しながら食します。雨天も曇天もなんのその。参加者が多くても少なくても、毎回ステキな記憶に残るイベント「ウォーク」です。次回は2026年3月27日です。皆様のご参加をお待ちしています。（木曜教室 赤嶺 令子）



『立川市第5次多文化共生推進プラン』検討会議に参加して

2025年度から2029年度までの5年間にわたる第5次多文化共生推進プランを策定するため、昨年5月から6回にわたって10名の委員からなる検討会議が開催されました。TIFAからは団体推薦委員として前会長の木下が、また公募委員として木曜教室と子ども日本語教室「つばさ」で活動されている北岸一樹さんが参加しました。

このプランの前提となるのは、コロナ禍後の在留外国人の大幅な増加です。2024年1月と2025年1月で比べると、東京都全体で日本人の増加は16,276人なのに対して、在留外国人は73,819人増えています。約4.5倍です。同時期に立川市では外国人市民が614人増えています、日本人は182人減っています。

このような状況を踏まえて議論が集中したのは、①日本語を学習する機会の拡充、②外国人児童・生徒の日本語学習支援、③頻発する災害に備えた外国人市民への情報提供や災害時の支援体制の充実でした。素案が市のホームページに掲載されていますので、ご覧いただき、それぞれの活動に活かしていただければと思います。

（土曜教室 木下 究）

リレーコラム 交差点

木曜教室 本郷 保夫 わたしの日本語学習

小学生と中学生のときには「国語」の科目があり、ひらがな、カタカナ、漢字を使ったさまざまな文章を勉強しました。低学年から高学年に進むにつれて、漢字の数が増え、画数も多くなり、それぞれの読み方の



数も増えました。覚えなければならない漢字が増えるにつれて、国語のテストの成績はあまり良くありませんでした。

「言葉（漢字を含む）を覚えるには読書が良い」と教えられ、できるだけ本を読むようにしました。

工業高専に入学すると、「現代国語」

のほかに「古文」と「漢文」の科目がありました。古文は昔の物語や和歌などを扱い、漢文は中国の古典などを学ぶものでした。古文や漢文は落第しない程度に頑張りました。大学でも「国語」の科目がありましたが、夏目漱石の作品を中心に学びました。日本語よりも英語とドイツ語の学習に力を入れました。卒業論文は日本語で書き、卒業後に就職しました。

学生時代を振り返ると、日本語の能力として「読むこと」と「書くこと」のスキルが磨かれました。しかし、会社生活では対話や発表の能力が求められ、「聞くこと」と「話すこと」のスキルが伸びました。

電機会社で定年を迎えた後、日本語のボランティアをしたいと思います、TIFAに入れてもらい活動を始めました。1年間続けてみると、日本語を教えるスキルがあまりないことに気づき、ヒューマンアカデミーで日本語教師養成講座を受講しました。これにより日本語の基礎知識を得ることができ、再びボランティアを始めました。今後も日本語のスキルを深めながら、ボランティアを続けていきたいと考えています。

土曜教室 山下 文子 思わぬ発見

「日本語で日本語を教える」と、張り切っていました。日本語初心者と身振り手振り。生徒は楽しそうに頷いていたのに、実は理解していませんでした。英語交じりの説明をしてやっと、わかった！の表情。英語圏ならやっぱり英語はすばらしい味方です。

でも、私は、英語は得意分野ではなく語彙力も足りない。何とかしようとNHKのラジオ英会話をやってみたら、どうにも眠くなってしまふ。

他に良い方法は？と考え、英語で日記なんてどう？と冗談半分にやってみたら、あらっ？何だか楽しい！眠くならない！先生は、携帯の翻訳ソフト。私の英語を直してくれて、スマートな英語文も教えてくれる。

ヒアリングもできて、聴き取りは少し速くなった気がする。発音だって綺麗になりそう。リアルタイム、マンツーマン、授業料は取らない。思いがけず毎日が楽しい。朝は、目が覚めたとなん日記が書きたい。歩いていても、食事の時でも英語が浮かぶ。驚くことに夢の中で日記を書いていた日もあった。学生時代に習った英語の慣用句がよみがえり、先生の発音が聞こえてくる。日本語の日記はいつも三日坊主だったけど、英語日記は始めて3か月、一日も欠けることなく大学ノートが3冊目になりました。

私はこんなに英語が好きだったのかな？



西砂教室 茶野 真由美 立川の果てで、じわりと熱い



波多野さんが、私の職場でのボランティアのほかに、日本語教室のボランティアもされていることを伺っていましたが、一緒に利用者さんの昼食配膳の準備をしながら、始めたきっかけを伺うと、

“定年退職後はボランティアをする”と決めていたそうです。もう20年も続けているとのこと。そんな波多野さんの姿勢に触発され、TIFA 柴崎教室を見学させていただくことになりました。

外国語の習得は苦手な分野。そんな私が外国人に日本語を？正直、今始めることは考えていませんでしたが、柴崎教室の熱気に後押しされ、TIFA 西砂教室に所属することに。縁あって日本に暮らすことになった外国人の生活を知りたいという思いもありました。

さて、近頃の西砂教室の様子といえば、コロナ禍の活動自粛を経て、ボランティア講師の不足が深刻でしたが、新たに多くの仲間を迎えました。受講生は、押し寄せる波のように、新規登録者が集まる日もあれば、波が引いたように静かな日もあって、入れ替わりも多いと感じます。先頃は特定技能などの在留資格で来日する受講生も多く、多忙な仕事の中で時間を捻出して日本語を学んでいます。学習の継続は高いハードルです。その点では、コロナ禍を契機に始めたオンライン授業は、環境さえ確保できれば、受講生側の事情にも配慮できて継続的な学習に効果を上げています。岡田部長の熱い思いもあって、行事の開催も増えました。ここが、受講生にとっての第2のふるさと、心の拠り所となれるよう、西砂教室の歩みを微力ながら応援していきたいと思っています。

2025 年度 開講の様子

木曜教室 在籍：講師 20 名 受講生 30 名

4月10日（木）柴崎学習館にて開講式が行われました。来賓として立川市役所市民協働課より福邊課長、早野係長がご出席され、将来に向けての TIFA への期待についてお話下さいました。TIFA 出席者は、小林会長、講師 19 名、受講生 17 名でした。2025 年度の初日ということで、いつも以上に、頑張っ て日本語を学ぼう、日本語を教えようという意欲が満ちておりました。ぜひ集合写真をじっくりご覧ください。

昨 年 秋 ぐ ろ っ か ら、新 規 の 受 講 生 が 増 え て い る 状 況 で す。本 日 も 3 名 い ら っ し ゃ い ま し た。新 し い 出 会 い を 大 切 に 受 け 入 れ て い き た い と い っ ま す。（富田教室部長）



土曜教室 在籍：講師 23 名 受講生 39 名

4月5日（土）、受付には早い時間から新規受講申込者が数名来室、慌ただしい新学期のスタートでした。教室では、小林会長司会の下、ボランティア 18 名、受講生 22 名（新学期からの新規受講生 6 名含）が出席で、開講式が行われました。会長からは、年間 40 回の授業があること、他にも様々なイベントが計画されていることが受講生に伝えられ、是非積極的に参加してください、と受講生に呼びかけました。今年も 1 年、ボランティアと受講生が楽しみながら一緒に勉強し、各種イベントを通して共に交流を図っていきたいと思っています。（所教室部長）



西砂教室 在籍：講師 15 名 受講生 23 名

春の陽気に包まれた 4 月 5 日、西砂教室では新年度を迎えました。コロナ禍以降、検温・マスク・換気など感染症対策を最優先にしています。以前、体調不良の受講生が検温をせず参加し、途中早退したことがあり、受付や講師による声かけを徹底するようになりました。

もう一つの心がけはレクリエーションの意義です。多忙な講師にとって必要か迷う時があります。他の講師からは「心をなごませ、受講生との交流を深める大切な機会」と伺い、意義を再認識しています。（岡田代表）



木曜教室 ボランティア研修会

2月6日、3階作業室にてボランティア研修会を行いました。参加者は 17 名。テーマに沿ってグループディスカッションを行い、その内容を発表しました。

課題はそれぞれ異なりますが、①初級（特に O レベル）の受講生への教え方。②助詞、副詞の使い方、副詞の後に助詞を入れる場合と入れない場合の違いの説明。③在日年数が

長く、自力で学び、日常生活はそんなに困らない受講生の間違いの直し方。④学校で学んだ経験が無く、学習ということがわからない受講生への対応⑤レベルの違う複数の受講生を同時に教える方法⑥教室への定着方法（特に日本語を使う機会の少ない方）などが課題として提出されました。

来期の講師による研修会では、いくつかの課題に絞って講義を依頼する予定です。



土曜教室 節分



2月1日（土）柴崎学習館教室で節分行事が行われました。司会が節分について簡単に説明し、受講生は理解を深めました。突然廊下から鬼が乱入。鬼のお面を被った受講生たちが威嚇のポーズで現れました。お面を取った後、写真撮影。皆さん笑顔で日本の伝統行事を楽しみました。次に、ボランティア講師によるマジックショーが行われました。

様々な色の布や花を使ったマジックが行われました。一番印象的だったのはスマホを使ったマジックです。スマホの画面をハンカチーフが突き抜けるマジックが披露され、歓声が上がりました。他にも、新作マジックを次々と成功させて、会場は盛り上がりしました。



西砂教室 ミニ発表会&懇親会

3/15 ミニ発表会&懇親会が開催されました。



会場設営、音響・映像セット、受付、司会進行、お弁当手配など、講師は係を分担し当日

を迎えました。

受講生は映像を使いながら故郷の紹介をする方や日本に来て驚いた事をパフォーマンスを加えてお話しされた方など、個性溢れる発表でした。また初めて日本語スピーチをされた方は発表後の笑顔が本当に素敵でした。最後に、全員で片付けをし発表会は終了となりました。



講師同士の交流の場にもなり、とても有意義なひとときでした。教える側も教わる側も共に楽しみながら学び合えるお教室作りができるように精進してまいります。

木曜教室 スピーチ会

3月13日、10時40分から3階作業室に一同が参集し、年度末恒例の受講生によるスピーチ会が開催されました。教室部長の富田さんの進行により、9名の受講生が日頃の日本語学習の成果を伸びやかに発表しました。自己紹介をしてくれた人、楽しかった日帰りスキー旅行の話、来日の目的、出身の国の紹介や日本の食べ物の話もありました。どの受講生も日本語がわかるようになるにつれて、毎日が充実してきているようです。さらには、きちんとした正しい日本語を話せるようになりたい。電話で話していても相手が自分を外国人だとわからないまでになりたいなど、今後の日本語学習の目標も語ってくれました。



私達日本語を教えるボランティアにとっても、教え方の参考になるようなスピーチ会でした。



教室別 2024 年度参加実績など

国別の受講生数と講師数

2024 年 11 月 1 日

国・地域	木曜	土曜	西砂	計
中国	11	10	8	29
アメリカ	3	7		10
ベトナム		4	4	8
台湾	3		3	6
ネパール	1	1	2	4
*3か国 各3名	2	5	2	9
オーストラリア	2			2
*6か国 各1名	2	3	1	6
合 計	24	30	20	74

教室	講師	受講生
木曜	20	24
土曜	24	30
西砂	22	20
合計	66	74



* 3 か国 各 3 名の国 (フィリピン、インドネシア、インド)

* 6 か国 各 1 名の国 (日本、タイ、ギニア、英国、イタリア、ノルウェー)

TIFA ホームページ掲示板「日本語教育実態調査」もぜひご覧ください。

2024 年度 講師・受講生 のべ人数

	講師	受講生	合計
木曜教室	736	645	1,381
土曜教室	848	810	1,658
西砂教室	509	633	1,142
3教室計	2,093	2,088	4,181
2023 年度	2,162	2,014	4,176

立川市外国人人口

国・地域の人数を上位順に表示 () 内の数字は前年
2025 年 1 月 1 日

中国	2,353	米国	179
韓国	756	台湾	142
ベトナム	719	ミャンマー	123
フィリピン	426	インド	48
ネパール	413	その他	721
インドネシア	198	総 数	6,078 (5,464)

* 立川市総人口：185,399 人 (185,825 人)

外国人比率： 3.28% (2.94%)

出典：東京都の統計 区市町村別国籍・地域別外国人人口 (上位 10 か国・地域)及び東京都の人口推計より

立川国際友好協会

西砂教室

